

（仮称）新九段生涯学習館 基本計画検討会

—第1回—

令和8年6月29日

— 議題 —

- 1 検討会の設置目的について
- 2 策定趣旨
- 3 基本計画策定に向けたスケジュール
- 4 現施設の状況と基本構想の振り返り
- 5 建築計画の基本的な考え方
 - ・ 建築計画方針
 - ・ 機能相関
- 6 利用者意見聴取について

1 検討会の設置目的について

設置目的と構成員

○目的

（仮称）新九段生涯学習館の整備に当たり、基本構想で示したコンセプトを具体化し、基本計画を策定するため、（仮称）新九段生涯学習館基本計画検討会を設置する。

○構成員

組織・団体等	氏名（敬称略）
国際基督教大学 教養学部アーツ・サイエンス学科	佐藤 千津
千代田区文化芸術協会	新井 巖
千代田区障害者共助会	清水 水尾
千代田区スポーツ推進委員協議会	庄司 由美子
千代田区文化連盟	野田 健一郎
千代田区青少年委員、千代田区社会教育委員	村木 さをり

2 策定趣旨

九段生涯学習館（昭和55年竣工）は、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」の地区内に所在しています。

本再開発に関する再開発ビルに配置する区有施設については、区が従後に取得する権利床を「九段生涯学習館」とし、生涯学習館の機能更新を軸に検討していくこととしています。

令和7年度は「（仮称）新九段生涯学習館基本構想検討会」を設置し、基本構想を策定しましたが、令和8年度は、「（仮称）新九段生涯学習館基本計画検討会」を設置し、基本計画を策定します。

再開発事業の概要①

－再開発事業の概要－

(1) これまでの主な経緯

- ・ 平成29年10月 九段南一丁目地区市街地再開発準備組合 設立
- ・ 令和6年3月 都市計画決定(市街地再開発事業)
- ・ 令和7年11月 再開発組合設立及び事業計画認可

(2) 事業計画の概要(予定)

施行区域面積	約 0.6 ヘクタール
建築敷地面積	約 5,410 m ²
建 築 面 積	約 4,100 m ²
延 べ 面 積	約 81,600 m ²
主 要 用 途	事務所、店舗、公共公益施設、駐車場等
建築物の高さ (階 数)	約 170m (地上 32 階地下3階)

再開発事業の概要②

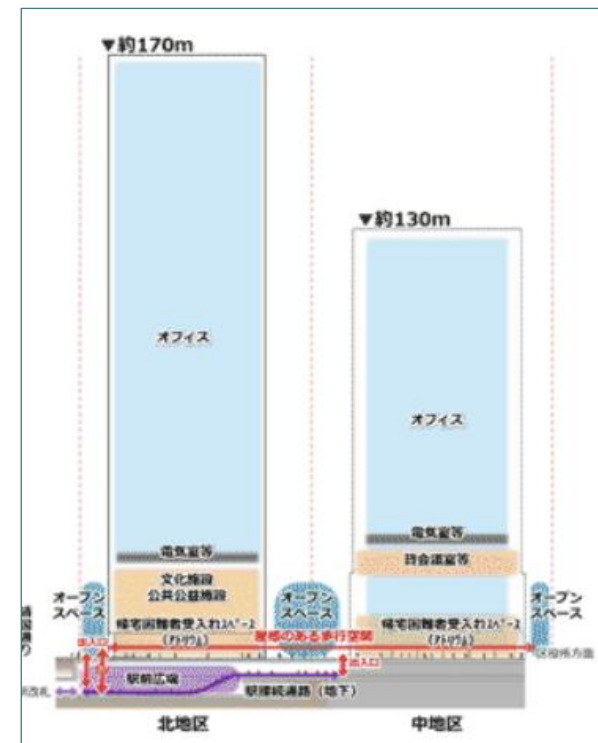
ー再開発事業の概要ー

(3) 今後のスケジュール(予定)

- ・ 令和8年度 権利変換計画認可
- ・ 令和10年度 工事着手
- ・ 令和15年度 建築竣工



【位置図】



【断面図】

(仮称) 新九段生涯学習館基本計画とは

－基本計画－

(仮称)新九段生涯学習館基本構想を踏まえ、新しい生涯学習館の施設機能・役割、規模や諸室構成、配置の考え方等といった施設整備計画を明らかにするものです。

基本計画の主要要素

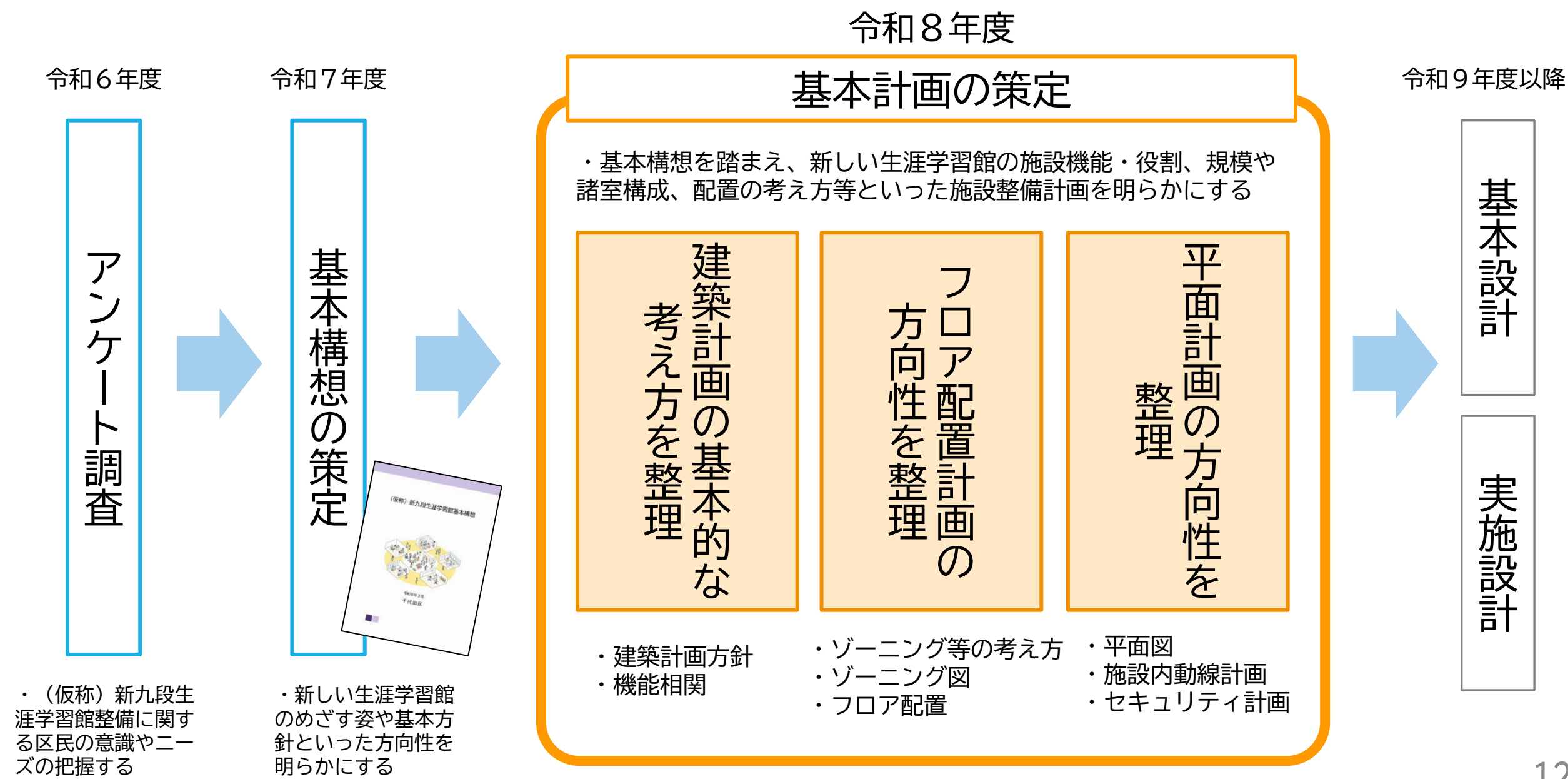
新たな生涯学習館の整備に向けた基本計画には、主に以下の要素を記載することが想定されます。

基本計画の主な構成要素

- ・ 基本計画策定の背景
- ・ 建築計画の基本的な考え方
- ・ 建築計画
 - フロア配置計画
 - 平面計画
- ・ 整備スケジュール など

3 基本計画策定に向けたスケジュール

これまでの経緯、今年度取組むこと、来年度以降の予定



基本計画について

令和7年度の基本構想で示した内容の具体化を図るため、令和8年度の基本計画では、建築計画の基本的な考え方を整理するとともに、フロア配置計画や平面計画等として取りまとめ、施設整備に向けた具体的な計画を示します。

基本構想の主な構成要素（令和7年度）

- ・ 策定趣旨
- ・ 基本構想の背景
- ・ 新たな施設のめざす姿
- ・ 基本方針
- ・ 導入機能
- ・ 今後の取組み



基本計画の主な構成要素（令和8年度）

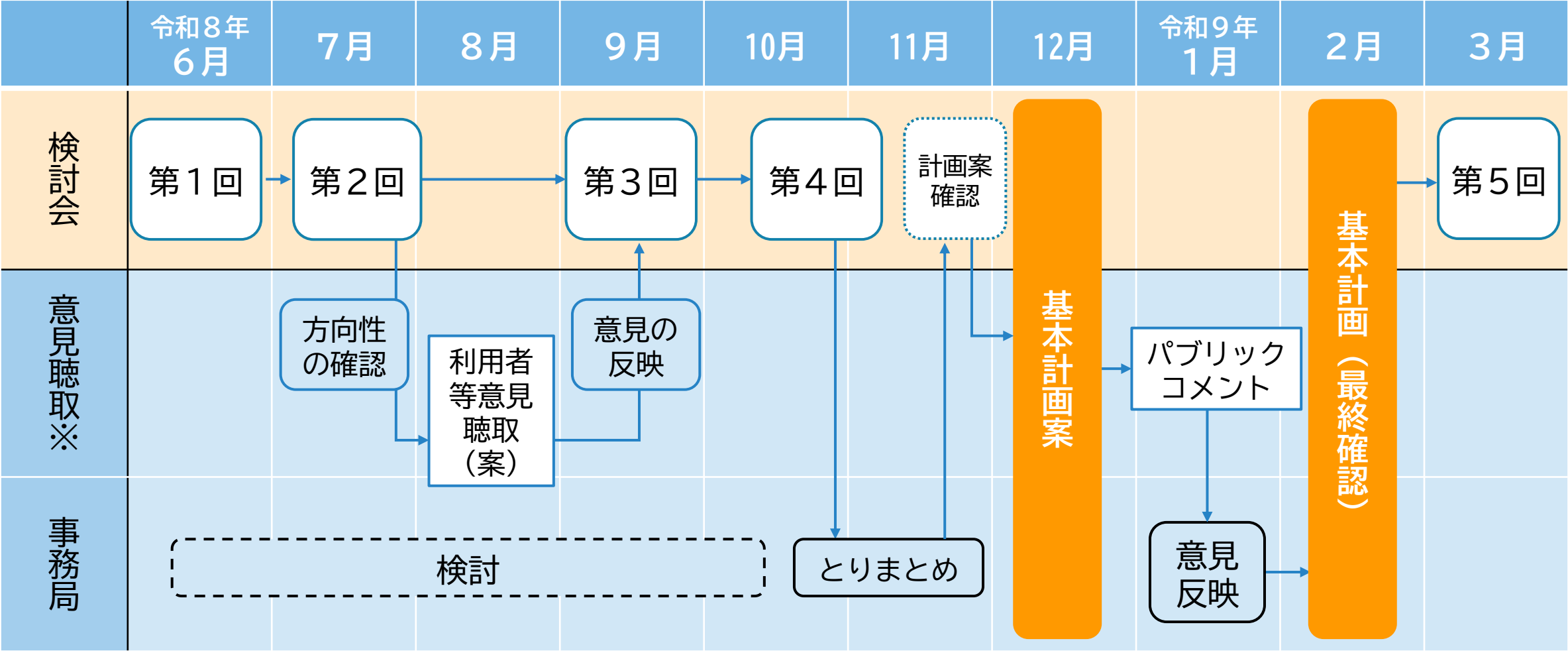
- ・ 基本計画策定の背景
- ・ 建築計画の基本的な考え方
- ・ 建築計画
 - フロア配置計画
 - 平面計画
- ・ 整備スケジュール など

基本計画検討会の内容・進め方 案

		【第1回】 6月下旬	【第2回】 7月下旬	【第3回】 9月中旬	【第4回】 10月下旬	【確認】 11月	【第5回】 3月
基本構想の振り返り ・ 現施設の状況 ・ 基本構想検討会での検討状況 など		振り返り				基本計画案の確認	パブコメ結果・基本計画報告
主な検討項目	建築計画の基本的な考え方 ・ 建築計画方針 ・ 機能相関	意見出し	意見出し	たたき	まとめ		
	フロア配置計画 ・ ゾーニング等の考え方 ・ ゾーニング図 ・ フロア配置		意見出し	たたき			
	平面計画 ・ 平面図 ・ 施設内動線計画 ・ セキュリティ計画	実施案を共有して ご意見をいただきます。		意見出し			
利用者意見聴取（案）		意見出し	実施 (8月予定)		報告		

▶ 頂いたご意見・ご検討を踏まえ、委員長及び事務局にて最終的なとりまとめを行いご確認ください。

基本計画検討会のスケジュール 案



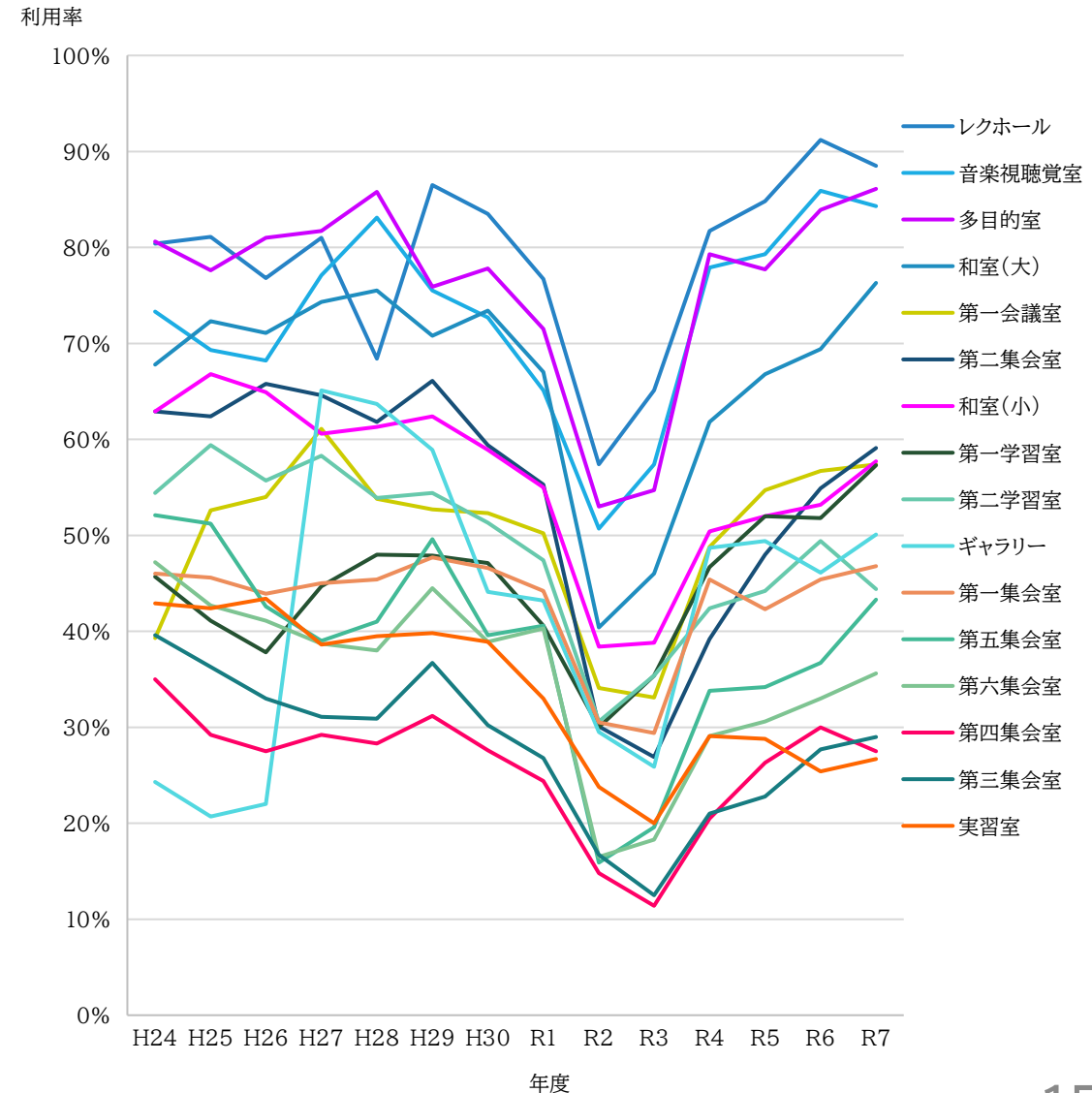
※検討会にて方向性を確認したフロア配置計画案等は、施設利用者の皆様へ共有し、広くご意見を伺うことを検討しています。施設利用者からのご意見は、検討会へフィードバックし、いただいた意見も含めて検討いただくことを想定しています。

4 現施設の状況と 基本構想の振り返り

九段生涯学習館の各室 利用状況について

- 令和8年6月1日現在の登録団体数は、471団体（区民自主：226団体、一般：238団体、免除A：7団体）となっている。
- 令和7年度の利用件数は8,710件となり、令和6年度から増加しており、新型コロナウイルス感染症の収束後、利用は回復から増加傾向へと移行している。
- 各室の利用率の推移を見ると、平成29年度頃をピークに令和2～3年度にかけて低下した後、令和4年度以降は回復し、令和7年度は平均利用率54.6%と近年で最も高い水準となっている。レクホール、音楽・視聴覚室、多目的室では80%台の高い利用率となっている一方、小規模な集会室や実習室は20～30%台にとどまっており、部屋ごとの利用率に差が生じている。

九段生涯学習館の各室利用率の推移



■ 施設が閉鎖的な印象を与え、利用者も限定されている

施設の入口が狭く、個人で利用できるスペースもないため、誰でも気軽に立ち寄って利用できるオープンな雰囲気欠けている。また、九段生涯学習館を利用したことがない区民は過半数にのぼり、若い世代の利用が少ないなど利用者層に偏りが見られることから、利用者層のさらなる拡大が求められている。

■ 諸室の構成や広さがニーズに合っていない

部屋によって利用率に大きな差があり、小規模な集会室や実習室は利用率が低いため、ニーズに合った用途や規模の見直しが求められる。一方で、音楽室・運動室は利用率が高く、曜日や時間帯によっては予約が難しい状況が生じている。

■ 活動が各部屋で完結し、交流できるスペースや仕掛けが不足している

各部屋は壁で仕切られ、外から見えない構造となっており、お互いの活動の様子を知る機会がない。また、自由に休憩や談話ができるスペースもなく、生涯学習活動を通じたつながりや広がりを醸成する空間が乏しいと考えられる。

■ 活動の発表や情報提供の場が不足している

活動の成果を発表し、広く知ってもらう場や機会は限定的となっている。また、学びのきっかけや生涯学習に関する情報発信や相談、プログラム紹介や事業案内など、自分らしく学びを始めやすくするための幅広い支援が求められている。

令和7年度の振り返り（基本構想検討会）

第1回 令和7年7月14日開催

議題

- ・検討会の進め方の確認(検討事項、スケジュール)
- ・現施設の状況(施設の運営状況や利用状況)
- ・九段生涯学習館の取り巻く環境 など

意見交換

- ・千代田区や九段生涯学習館の良いところ・好きなところ
- ・新施設のめざす姿や基本方針について など

第2回 令和7年8月14日開催

議題

- ・(第1回の意見から)導き出されたキーワードの確認
⇒めざす姿(案)と基本方針(案) など

意見交換

- ・新施設のめざす姿や基本方針について
- ・現施設の各機能の規模について(拡充/縮小/同等/新規/集約)など

第3回 令和7年9月10日開催

議題

- ・めざす姿や基本方針の修正案の確認
- ・(第2回の意見から)導き出されたポイントの確認
⇒新施設の機能(案) など

意見交換

- ・新施設のめざす姿や基本方針の修正案について
- ・新施設の機能(案)について など

利用者意見聴取

令和7年10月16日実施

テーマ

「活動エリア」と「交流エリア」に、
どんな施設・機能があったら良いか

第4回 令和7年11月5日開催

議題

- ・めざす姿や基本方針の最終確認
- ・新施設の機能の修正案の確認
- ・利用者意見聴取の結果共有など

意見交換

- ・めざす姿や基本方針について
- ・新施設の機能について など

パブコメ

令和8年1月5日～
令和8年1月19日実施

第5回 令和8年3月 書面開催

- ・パブコメ結果の確認 など

基本構想検討会で 議論されたこと

千代田区や九段生涯学習館の
良いところ・好きなところ

現施設の課題

新施設の
めざす姿や基本方針

新施設の
エリア別の導入機能

導入機能の
相関

導入機能の
規模(室面積)

基本構想
策定



基本構想のめざす姿・基本方針

【めざす姿】

学び、つながり、未来へ
「九段から始まる学びのサードプレイス」

【基本方針】

1. 多様な人々が交わり、日常に開かれた、居心地のよい交流空間をつくります。
2. 生涯を通じて自分らしく学び続け、地域や社会とつながる“活動の場”を提供します。
3. 千代田の歴史と文化に根ざし、世代を超えて学びが息づく場をつくります。
4. 変化する社会に対応し、学びや挑戦を生み出す、柔軟で持続可能な施設とします。
5. 誰もが安心して、気持ちよく利用できる、安全で快適な施設とします。

エリアと導入機能の整理

新施設には、主に2つのエリアを設けるとともに、5つの機能を導入します。各機能に対応して整備する主要な諸室は、以下のとおりです。

エリア	導入機能	主要な諸室
活動エリア	① 「座学系の活動」 機能	・ 会議室 ・ 和室 ・ 創作室
	② 「運動・音楽系の活動」 機能	・ 運動・音楽室 ・ スタジオ
交流エリア	③ 「展示・発表」 機能	・ ギャラリー
	④ 「オープンな活動空間」 機能	・ 談話スペース
	⑤ 「談話・休憩・飲食」 機能	

導入機能の整理

① 「座学系の活動」機能 | 会議室、和室、創作室

座学講座や伝統芸能の活動、絵画や陶芸等の創作活動をはじめとする座学系生涯学習活動のための部屋や備品の貸し出しを行います。

○会議室[整備の方向性]

- ・利用率を踏まえて、各部屋の規模や室数を整理します。
- ・可動間仕切りによって、人数に応じて柔軟にスペースを活用できるようにします。
- ・活動の見える化を図るとともに、明るく開放的な空間とします。使い勝手のよい部屋の形・設えを検討し、一部の部屋には防音性能の導入を検討します。

○和室[整備の方向性]

- ・和室(大)、和室(小)を1室ずつ整備します。
- ・規模は現状を維持しつつ、機能を更新して利用率の向上を図ります。

○創作室[整備の方向性]

- ・利用率や利用実態を踏まえ、活動スペースの規模は縮小、電気炉等を置く準備室は拡充して整備します。
- ・陶芸専用の部屋から、創作活動全般で多目的に利用できる部屋への転換により、利用率の向上を図ります。



導入機能の整理

① 「座学系の活動」機能 | 会議室、和室、創作室

基本構想検討会で整理した導入機能・規模

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人数 (人)	方針
大会議室	約85	45	集約
中会議室	約35	15	
	約35	15	
	約35	15	
	約35	15	
小会議室	約20	10	
	約20	10	
和室(大)	約75	15	同等
和室(小)	約40	15	
創作室	約50	15	縮小
↳ 準備室、電気炉 置場	約30	-	拡充

利用率を踏まえ総面積を削減し、
大規模1室・中規模4室・小規模2室に再編。

和室特有の落ち着いた空間や和室の風情に対する需要を
踏まえ、室数および規模を維持する。

利用率を踏まえ規模を縮小。

②「運動・音楽系の活動」機能 | 運動・音楽室、スタジオ

ダンスやヨガなどの運動系、合唱や楽器練習などの音楽系生涯学習活動のための部屋や備品の貸し出しを行います。

[整備の方向性]

- ・利用実態を踏まえ、各部屋の面積を増やす方向で検討します。
また、利用実態を踏まえ、大部屋や中部屋、小部屋(スタジオ)を整備して、部屋数を増やし機能を拡充します。
- ・運動や音楽でも利用できるように設えとします。



基本構想検討会で整理した導入機能・規模

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人数 (人)	方針
運動音楽室大(舞台付き)	約200	100	拡充
運動音楽室大	約180	100	
運動音楽室小	約85	35	
	約85	35	
スタジオ	約20	6	
スタジオ	約20	6	

利用率を踏まえ、総面積の割合を増やし、
大部屋2室・中部屋2室・小部屋(スタジオ)
2室に再編。

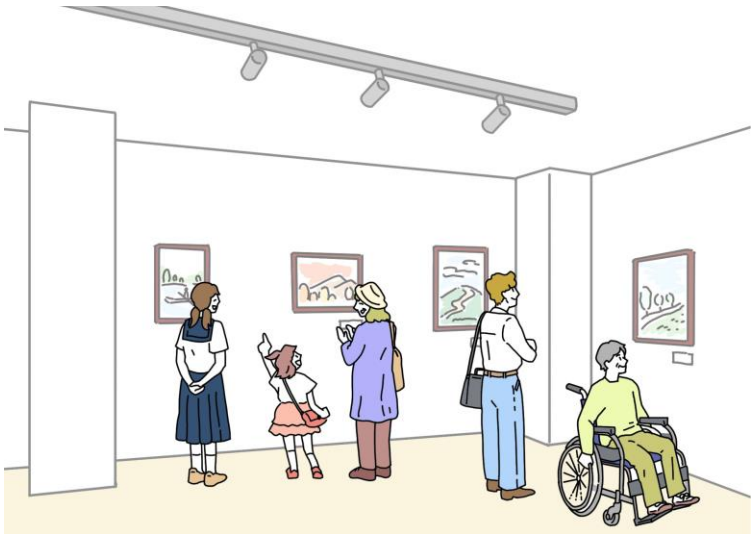
③ 「展示・発表」機能

ギャラリー

作品等の展示空間を提供するとともに、生涯学習に関する情報発信の場を整備します。また、より多くの人に足を運んでもらえる展示空間の導入の検討し、日々の活動成果の展示することで情報発信機能を持たせます。

[整備の方向性]

- ・利用者の交流する機会を増やせるようエントランスロビーの一部として導入します。
- ・展示だけでなく、生涯学習のきっかけづくりを目的としたイベントの開催場所としての活用を図ります。
- ・様々な利用者の目に触れ、施設の活気や賑わいを感じられる場所にします。展示イベントの利用がないときは、待ち合わせや休憩に自由に使えるスペースとして整備します。



基本構想検討会で整理した導入機能・規模

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人数 (人)	方針
ギャラリー	約120	-	同等

スペースは同規模で確保。交流エリアと一体的に整備して、多様な利用者の目に触れ、施設の活気や賑わいが感じられる場とする。

④「オープンな活動空間」⑤「談話・休憩・飲食」機能

談話スペース

交流しやすい空間、交流を促す機会を提供します。グループでの気軽な打合せや交流ができるスペースを設け、生涯学習のための使い勝手のよい部屋の形・設えを検討し、活動を通じたつながりや生涯学習活動の広がりを醸成する、オープンな活動空間を整備します。

また、フリースペースや談話スペースなど、飲食をしながら待ち合わせや活動後の休憩をするスペースを整備します。

[整備の方向性]

展示機能と一体的に整備し、面積を共有することで、状況に応じて面積を増減させ、柔軟なスペース活用を図ります。

- ④オープンな活動空間機能
- ・生涯学習活動が個室で完結するのではなく新たな出会いやつながり、活動が生まれることに期待して、個人やグループで利用できるスペースの導入を検討します。
- ⑤談話・休憩・飲食機能
- ・エントランスロビーの一角に休憩スペースを整備します。
 - ・活動前後の待ち合わせや打合せスペースとして飲食機能などの導入を検討します。

基本構想で整理した導入機能・規模

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人数 (人)	方針
談話スペース	約60	20	新規



5 建築計画の基本的な考え方 (建築計画方針・機能相関)

建築計画方針について

意見交換テーマ1 : 施設計画を行うための「建築計画方針」について

新たな九段生涯学習館のイメージについて

基本計画では、基本構想（めざす姿、基本方針）で定めた方向性を具体化するため、**施設に必要な規模、配置の考え方**などを整理します。

新たな九段生涯学習館は、どんな施設にしたいですか？

ご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

建築計画方針について

意見交換テーマ1：施設計画を行うための「建築計画方針」について

新たな九段生涯学習館のイメージについて

(参考)基本構想で定めた「めざす姿」と「基本方針」

めざす姿

学び、つながり、未来へ
「九段から始まる学びのサードプレイス」

※サードプレイス：自宅や職場とは異なる、居心地の良い「第三の場所」

⇒多世代の交流を通じ、学び合いが広がり、
文化を継承しながら地域がいっそう豊かになっていくイメージ案

基本方針

1	多様な人々が交わり、日常に開かれた、居心地のよい交流空間をつくります。 【多世代、多様な人、場づくり、交流空間、談話・休憩・飲食、若者、子ども】
2	生涯を通じて自分らしく学び続け、地域や社会とつながる“活動の場”を提供します。 【個人・社会のウェルビーイング向上、マルチステージ型人生、コミュニティ、発信発表、在勤者】
3	千代田の歴史と文化に根ざし、世代を超えて学びが息づく場をつくります。 【学びの継承・連続性、歴史・地域性、「場」に根差した学び、過去→現在→未来の縦のつながり】
4	変化する社会に対応し、学びや挑戦を生み出す、柔軟で持続可能な施設とします。 【デジタル技術、多様なニーズにこたえる可変性ある空間設計、九段ならではの魅力を高める】
5	誰もが安心して、気持ちよく利用できる、安全で快適な施設とします。 【運営・サービス、バリアフリー、ユニバーサルデザイン】

機能相関について

意見交換テーマ2 : 機能相関において配慮すべき項目について

主要な諸室の機能相関について

各諸室の配置について

- ① どのようなことに配慮・重視すべきか。
- ② どのように配置すると良いか

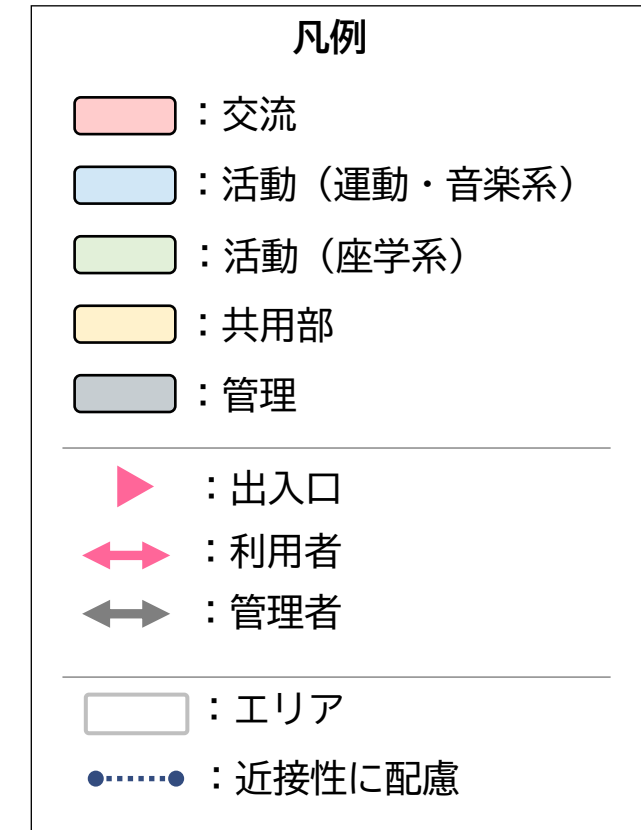
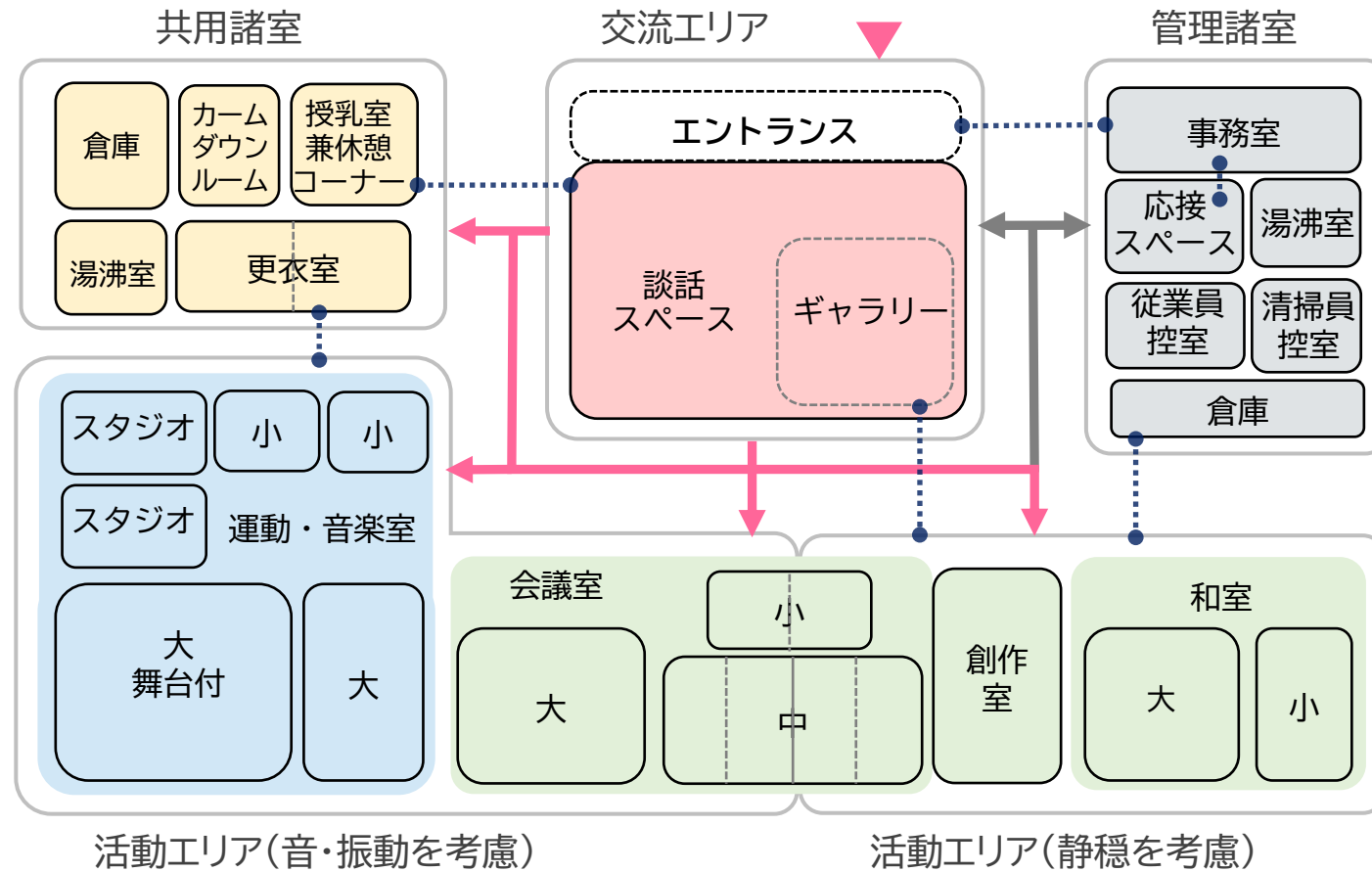
ご意見やご提案がありましたらお聞かせください。

(参考)機能相関を考えるキーワード

交流、活動内容別、利用しやすさ、管理しやすさ、騒音・振動、活動の見える化・・・

機能相関について

新施設における機能相関図(案)



6 利用者意見聴取について

昨年度の利用者意見聴取について

■ 目的

- 令和7年度は、利用者のニーズにあった多様な視点を取り入れた基本構想を策定するために、利用者から**各諸室の機能と規模について『ワークショップ形式』**で意見交換を実施し、**利用者ニーズを把握**しました。

■ 対象者

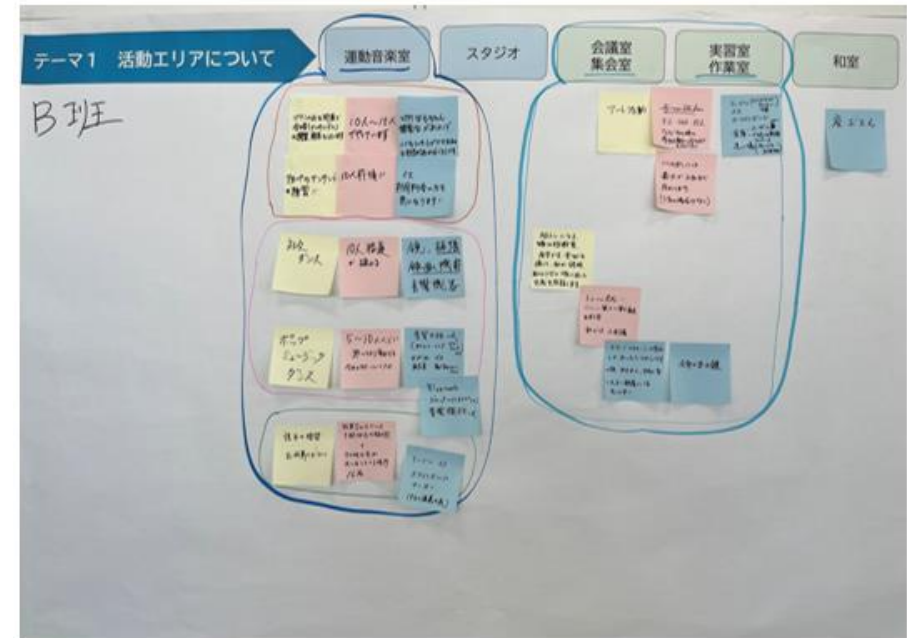
- 現在の九段生涯学習館の利用者
(23名 A～D班の4班に分けて実施)

■ 開催時期

- 令和7年10月16日(木) 午後6:30～午後8:20

■ 内容

- 活動エリア：**必要な機能、空間、使い方**について確認しました。
- 交流エリア：現施設で不足している**休憩・交流スペースのニーズ**や、**ギャラリーの使い方**についての意見を確認しました。



B班のテーマ1「活動エリア」に関する意見



意見交換の様子1



発表の様子

今年度の利用者意見聴取について 案

■ 目的

- ・ 令和8年度は、新しい生涯学習館の施設機能・役割、規模や諸室構成、配置の考え方等といった施設整備計画を明らかにするため、**利用者から各諸室の諸元（規模・設備等の詳細計画）の作成に必要な情報を聞き取ることを目的とした意見聴取**を検討しています。

■ 対象者

- ・ 現在の九段生涯学習館の利用者（20～30名程度の予定）
※多様な活動サークルから聞き取りを行うため、各団体から最大1名の方にご参加
いただく予定です。

■ 開催時期

- ・ 8月中旬～下旬 1回開催